

令和7年度第2回おうめ観光戦略推進懇談会会議録（概要）

1 日時

令和7年10月20日（月）午後2時00分

2 会場

議会棟3階 大会議室

3 出席委員

千葉 千枝子 委員（会長）、竹内 俊夫 委員（副会長）、
本橋 大輔 委員、林 英夫 委員、小澤 順一郎 委員、
嶋田 俊平 委員、千保木 三紀子 委員、榎戸 敏文 委員

4 欠席委員

なし

5 傍聴者

1名

6 議題

(1) あいさつ

(2) 議題

ア 戦略に位置づけた個別事業の進捗状況について

イ 令和8年度の事業計画（案）について

ウ 令和7年度第1回おうめ観光推進懇談会の意見整理について

エ 次回の懇談会日程について

オ 今年度の観光客および市民アンケート調査の実施内容について

カ 懇談会議事録の公開について

キ その他

7 配布資料

資料1 戦略に位置付けた個別事業の進捗状況について

資料2 令和8年度の事業計画案について

資料3 令和7年度第1回懇談会での意見整理表

資料4-1 観光客を対象としたアンケート調査について

資料4-2 市民を対象としたアンケート調査について

資料5-1 令和6年度第1回おうめ観光戦略推進懇談会会議録

資料5-2 令和6年度第2回おうめ観光戦略推進懇談会会議録

資料 5 - 3 令和 6 年度第 3 回おうめ観光戦略推進懇談会会議録

資料 5 - 4 令和 7 年度第 1 回おうめ観光戦略推進懇談会会議録

8 会議録（概要）

発言者	発言内容
1 あいさつ (省略)	
2 議題（1）戦略に位置づけた個別事業の進捗状況について (資料 1)	
事務局	<p>昨年度作成した令和 7 年度以降の事業計画に関する進捗状況について説明。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本戦略 1 「持続可能な観光地づくりの推進」について <ol style="list-style-type: none">①来年度の「J S T S - D ロゴマークについてのアセスメントレポートの提出および使用継続手続き」は、観光庁からの連絡後、レポートを提出する予定。②「観光客に対する W E B アンケート調査の実施」および「市民に対する W E B アンケート調査の実施」については、令和 8 年 2 月頃に実施する予定。③「先進地自治体事例の研究」について、来年度は、釜石市などの先進自治体の現地視察に行くための予算要求を行う。④「御岳交流センターの L E D 化工事」については、11 月頃に業者決定し、来年 2 月までの工事完了を目指して進めていく。⑤「観光地駐車場の有料化研究」について、観光地駐車場を有料化した他自治体の事例などを研究していく。⑥「観光地トイレの新設検討」について、奥多摩町が五十人平へバイオトイレ 4 基を設置した実績を研究している。また、水循環システムを利用したトイレについても情報収集しており、設置条件に適合したトイレの種類、場所等の選定が課題。また、地元住民より和田町 2 丁目

	<p>の町谷橋または稲荷神社下の林地へトイレ設置の希望があるため、その2箇所を候補地として検討を進めていく。</p> <p>⑦「青梅丘陵ハイキングコースの路面修繕」については、現時点で完了。</p> <p>⑧「青梅丘陵ハイキングコースの枯損木伐採」については、伐採業者を決定し、現時点で半分ほどが完了し、11月28日まで伐採を実施する予定。</p> <p>⑨「霞丘陵ハイキングコースの道標修繕」については、8月頃に委託業者を決定し、年度内に順次道標3基の更新を行っていき、年内に完了させる予定。</p> <p>⑩「電動キックボード等の導入検討」については、令和8年2月から3月開催の吉野梅郷梅まつりで試験導入できないか検討している。また、令和8年度の吹上花しょうぶまつりでの試験導入について予算要求を行う。</p> <p>・基本戦略2「インバウンド対応の推進」について</p> <p>①「御嶽駅でのオープンローミング設備の設置」については、今年度に御嶽駅周辺での設置する予定だったが、東京都による御岳インフォメーションセンター等2か所での設置が行われていたため、設置しないこととし、必要な代替地があるか検討していく。</p> <p>②「御岳山を対象とした外国人向けアンケート調査の実施」については、御岳山への来訪者が増える11月頃を目途に、アンケート調査内容とQRコード設置個所を検討していく。</p> <p>③「外国人向けガイドの作成」については、英語併記の2025年版歩き道マップを作成し、年度内に発行する。</p> <p>④「市内事業者に向けたアンケート調査の実施」については、TOKYOサステナブルツーリズムプラットフォーム構築事業の中で実施する市内事業者アンケート調査に盛り込むことで、現状を把握したいと考えている。</p>
--	---

・基本戦略3「市民、事業者と一体となったプロモーションの展開」について

- ①「OmeBlueグッズの作成」については、Tokyo-Ome Mini Book および Ome Blue 紹介カードの作成を完了。他の OmeBlue グッズについては、今月中に納品される。
- ②「PRイベントへの出展」については、記載のとおり各種イベントに出展した。今後は、青梅産業観光まつり やすぎなみフェスタでの出展を予定している。
- ③「TOKYO サステナブルツーリズムプラットフォーム構築事業」については、連絡協議会を発足し、書面開催を含む5回の協議会を開催した。支援委託事業者が決定し、地元事業者の現状調査や企業側へのニーズ調査、ワークショップ・交流会などを実施していく。
- ④「御嶽駅靴洗い場設置検討」については、高尾山口駅前に設置してある靴洗い場の事例を参考に、来年度の設置を目指して調査を進めている。
- ⑤「青梅ブルーインスタグラムでの投稿」については、10月4日に登録者数が1万人を突破した。今後も引き続き登録者数を増加を目指します。
- ⑥「WEB広告の実施」については、8回中4回が実施済みで、現在「秋の観光PR動画」を実施しており、その後、3回の広告を実施予定。
- ⑦「市民等による魅力発信ボランティア制度（仮称）の開始」については、名称を「OmeBluePR隊」とし、7月1日から制度を開始し、10月1日には、お笑いコンビ・ナユタのホリコシさんをOmeBluePR大使の第1号として任命式を実施した。今後は、広報おうめ11月1日号にて任命式の報告と、「OmeBluePR隊」の募集を行う。

・基本戦略4「観光資源の高付加価値化による収益力の向上」について

- ①「妖怪イベントの実施」については、9月1日から11

	<p>月30日までの期間で「青梅の妖怪と伝説と七つの不思議」を開催している。7つあるイベントのうち、2つは終了し、参加者数は325人。目標の4,051人を目指して引き続き周知をしていく。</p> <p>②「コンテンツ造成補助金制度検討」については、来年度実施できるように予算要求を行う。</p> <p>③「ボルダリングの聖地としての事業性研究」については、御岳溪谷付近でボルダリング活動を行っている団体と意見交換するなど研究を進めている。</p> <p>④「森林セラピーロードなどのウェルネスツーリズムの事業性研究」については、他地域における事例を調査しており、セラピーロードに関わる事業者についても調査し、研究を進めていく。また「癒しの道」などの市独自の造成ができるかも検討していく。</p> <p>⑤「市内の製造業者に対するアンケート調査の実施」については、7月4日に開催されたおうめオープンファクトリー2025の全体会議へ出席し、ファクトリーツーリズムの話をしたところ、いくつかの事業者が興味を持っていただいた。今後は具体的な内容を示しながら事業者へのアンケート調査を実施していきたいと考えている。</p> <p>⑥「民泊含む宿泊施設へのアンケート調査の実施」については、今年度中にアンケートを実施する予定。</p> <p>⑦「青梅ブルースイーツ&ドリンク開発事業」については、名称が「連続青梅小説群青文学」に決まり、7月19日から9月21日まで実施した。参画事業者数は20社にのぼり、売上は合計で300万円以上となり、概ね好評だった。来年度も実施する方向で予算要求を行う。</p>
<p>【質疑応答】</p>	

委員	ハイキングコースの路面修繕を行っていただいたが、水切り工事について工事が甘いとの感想を持った。水を流した箇所から地形が崩れていく可能性も考えられるので手直しをしてもらえないか。
事務局	色々のご意見を頂きながらできることをやっていきたい。
委員	梅まつりで電動キックボードの試験的導入について、事故も多いと聞くがどのようなイメージを持っているか。
事務局	現在調整している事業者さんでは利用ルールなどのレクチャーを行っており、その効果で事故が起きていないと伺っている。
委員	森林セラピーロードについてはどの地域を対象に検討しているのか。
事務局	森林セラピーソサエティ（認定業者）に費用面や条件面を確認した。セラピーロードの認定に対してハードルが高いことが分かったため、癒しの道という形で考えている。奥多摩町や檜原村へ情報収集している。
委員	奥多摩町も檜原村も外部団体が運営しているので、市が直接関わるのは難しいと認識しつつも、何かできると良いと考える。
2 議題（2）令和8年度の事業計画（案）について <p style="text-align: right;">（資料2）</p>	
事務局	来年度以降の事業計画について、現在までの事業の進捗状況を踏まえ、内容を変更したものを中心に説明。 ①「青梅丘陵ハイキングコースの枯損木伐採」について、令和8年度は長淵山ハイキングコースでの枯損木伐採ではなく、青梅丘陵ハイキングコースで今年度伐採できなかった枯損木の伐採を引き続き行う。他のハイキングコースは令和9年度以降にスライドした。 ②「霞丘陵ハイキングコースの道標修繕」について、長淵山ハイキングコースにおいて、道標がなく分かりづらい箇所を確認したため、来年度は長淵山ハイキングコ

	<p>ースでの道標設置に変更した。</p> <p>③「電動キックボード等の導入検討」について、関係部署や関係官公庁等との協議を行う予定だったが、まずは、市主催事業において試験導入を行い、ニーズや課題を洗い出すこととした。</p> <p>④「外国人向けガイドの作成」について、来年度は案内板へ外国語表記を併記する計画だったが、観光デジタルマップを作成し、より多くのインバウンド需要に対応できるような計画に変更した。</p> <p>⑤「OmeBlue グッズの作成」について、より多くのイベント等で配布することとし、来年度もグッズを作成することとした。</p> <p>⑥「御嶽駅靴洗い場設置検討」について、令和9年度の設置を考えていたが、令和8年度の設置ができないか予算要求を行う予定とした。</p> <p>⑦「青梅ブルーインスタグラムでの投稿」について、来年度以降も引き続き毎平日1回の投稿を計画し、フォロワー数の更なる増加を目指すこととした。</p> <p>⑧「市民等による魅力発信ボランティア制度（仮称）の開始」については、毎年度30人以上の登録を目指すこととする。併せて、本市に縁のある著名人の大使任命も増やせるように取り組んでいく。</p> <p>⑨「令和8年のドラマや話題等に絡めたイベントの検討」について、来年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」が放送されることを機に、同時期に青梅地域を支配していた国衆・三田氏についての戦国イベントを開催する予定で進めていく。</p> <p>⑩「ボルダリングの聖地としての事業性研究」について、ボルダリングマップを作成する予定と同時並行して、御岳交流センターにあるボルダリング設備を再稼働させること目標に軌道修正した。</p>
--	--

	<p>⑩「森林セラピーロードなどのウェルネスツーリズムの事業性研究」について、認定のハードルが高いことを認識した結果、「癒しの道」のような市独自のウェルネスツーリズムに関する取り組みができないかを検討していく。</p>
<p>【質疑応答】</p>	
委員	<p>群青文学について来年度は5社増やすということだと思うが、開催時期についても拡大する計画はあるか？</p>
事務局	<p>今年度参加いただいた事業者の9割は好評で来年度も参加したいとの声があった。来年度は事業者の拡大を考えている。また事業者へのヒアリングの結果、期間を過ぎても販売を続けている事業者もいるので、時期拡大も可能と考える。一方で、事業者さんの仕入れの問題もあるので、時期拡大についてはこれから研究していきたい。</p>
委員	<p>群青文学は予算ゼロでやったのか？</p>
事務局	<p>東京都の観光部からの伴奏支援という枠組みで行った。なので予算はすべて東京都から出ている。来年度以降の支援はないので、今後は自走していく必要がある。</p>
委員	<p>今年度盛り上がったものが尻つぼみになっていってしまっ てはもったいないので、もっと拡大してほしい。色を市のブランディングとして使用する事例はあまりないので良かったと思う。今後は事業者を使って周遊事業に拡大していても良いかも。具体的にはスタンプラリーを実施して、スタンプに応じて割引するバルウォーク的なものも考えられる。</p>
委員	<p>持続可能な観光について、青梅＝サステナブルツーリズムというイメージが定着していくと良いなと思っている。これをどう盛り上げていくかが大事と思うが、参画事業をどんどん増やしていくイメージか？</p>
事務局	<p>サステナブルツーリズムに参画する事業者を増やしていくイメージを持っている。初年度は現状把握としてアンケート</p>

	ト調査等を実施。二年度目以降の活動は勉強会などを通して三年度目に認定体制などを構築できたら良いと考えている。青梅市、奥多摩町、あきる野市、リーブノートレイスジャパンの4者で進めているが、檜原村も興味を持っているという話も聞いている。
委員	せっかくならこれも群青文学のようなブランディング視点で進めていくと良いなと思った。
委員	サステナブルツーリズムに関する取材希望ももらっている。地産地消に関するインタビューらしいので、その辺りも含めていけると良いと思う。
2 議題（3）令和7年度第1回おうめ観光推進懇談会の意見整理について <p style="text-align: right;">（資料3）</p>	
事務局	<p>前回の懇談会でいただいた提案や意見を受けて、来年度に向けての考えを以下のとおり説明</p> <p>①「青梅丘陵ハイキングコースについて、矢倉台から宮ノ平へ降りていく途中で景色の良い場所があるが、木が伸びて視野が狭くなってしまっているので整備を進めて欲しい。」とのご意見について、青梅丘陵を含むハイキングコースでの倒木等が多数発生しているため、優先順位を決めて進めていく。景観伐採についても、対応可能であれば担当課として実施していく。</p> <p>②「御岳、沢井周辺では民泊が10件以上ある。利用者の大半はインバウンドという情報もあるので、この辺りを調べるとインバウンドの実態が分かるのではないか。」とのご意見について、市では令和6年度に河辺駅、東青梅駅、青梅駅にてOpen-Roaming対応Wifiを設置した。また御嶽駅にも同様のWifiが設置済みのため、まずはそこから得られる属性データの分析を試みたいと考えている。</p> <p>③「インバウンド向けのガイドはデジタルマップのよう</p>

	<p>なもので作成してはどうか。また単に英訳しただけのガイドではなく、ストーリー性を持たせたガイドを作成すると外国人の方も周遊しやすいのではないか。」とのご意見について、多言語対応の観光デジタルガイドマップを作成したいと考えている。また、アンケート調査などを通して、外国人の目的や興味のあることの把握に努め、ストーリー性を持たせられるか検討していきたい。</p> <p>④「インバウンドの来訪者は電車でみると横田基地あたりに住まわれている家族の方達が多く見受けられる。実際の来訪者の属性について把握することに興味がある。」とのご意見について、各駅に設置されている Open-Roaming 対応 Wifi から得られる情報の精査に努めて、来訪者の属性について傾向を把握していく予定。</p> <p>⑤「アンケートで青梅市を来訪された方の目的は圧倒的に自然と触れ合える登山・ハイキングが多い。そういった方達への PR としてインフルエンサーを活用してはどうか。」とのご意見について、今年度から OmeBluePR 大使としてナユタのホリコシ氏を任命し、まずは PR 大使や PR 隊をインフルエンサーとしてハイキングコースを含め青梅の PR 情報を発信していければと考えている。</p> <p>⑥「最近の観光のトレンドとして、若い世代を中心にモノ消費からコト消費への移行が見受けられる。今後は観光地情報を発信するだけでなく体験できる場所などを発信するなど工夫が必要ではないか。」とのご意見について、観光施策の一つであるファクトリーツーリズムの構築がコト消費の一つのコンテンツになると考えている。令和 8 年度はそういった活動に協力いただける事業者を探しながら、コンテンツ造成補助金などの制度をはじめ、市がサポートしていける体制を構築して</p>
--	---

	<p>いきたいと考えている。</p> <p>⑦「ファクトリーツーリズムについて青梅じゃないと体験出来ないモノを見つけてPRしていくと、参加する事業者も増え、企画も増えてくると思う。」とのご意見について、11月にオープンファクトリーが開催されるので、そういったところへ見学に行くなどして、青梅ならではの体験コンテンツを探し出していきたいと考えている。</p> <p>⑧「青梅には温泉もあり、自然もある。そういった環境を活かして医療ツーリズムを構築していったらどうか。」とのご意見について、医療ツーリズムに通ずるものとして、懇談会でも議論に挙がっているウェルネスツーリズムについて、癒しの道など市独自の基準で振興できるような取り組みが可能か、令和8年度も引き続き検討していきたい。</p>
【質疑応答】	
委員	ファクトリーツーリズムについて、工場見学だけでなく宿泊を入れ込むとか歴史や製品の成り立ちなどを含み事業者の世界観が分かるような工夫をもって構成していくと良いと思う。
事務局	工場見学だけではコト消費に繋がらないと考えるので、いただいたご意見を踏まえて広がりを検討していきたい。
委員	青梅市はDX認定されている事業者が多いので、そこを生かしていくのが良いと思う。
事務局	商工会議所などとも協力しながら良いものを作り上げていけるよう勉強していきたい。
2 議題（4）今年度の観光客および市民アンケート調査の実施内容について <div style="text-align: right;">（資料4-1、4-2）</div>	
事務局	・観光客を対象としたアンケート調査について以下のとおり説明。

	<p>【調査方法】 WEB アンケート事業者による調査</p> <p>【調査対象者】 直近1年以内に本市に来訪経験がある首都圏居住者</p> <p>【調査期間】 令和8年2月1日から20日まで</p> <p>【アンケート項目】 資料4-1の別紙のとおり</p> <p>【令和7年に実施したアンケート項目からの変更点】 Q17「直近の青梅市の旅行における1人当たりの消費額（概算）を教えてください。」を数値入力とした。 ・市民を対象としたアンケート調査について以下のとおり説明。</p> <p>【調査方法】 来年2月1日号広報おうめにて周知を行い、市民を対象にWEBアンケートを行う</p> <p>【期間】 2月1日から20日</p> <p>【アンケート項目】 資料4-2のとおりで前回からの変更点はなし。</p>
委員	アンケートのやり方はどうやってやる？アンケート項目の選択肢が多く大変なイメージがある。
事務局	スクリーニング調査で性別や年代、青梅市へ来訪した経験があるかどうか等で絞り込みを行ってから詳細アンケートを行う流れとなっているので、そこまで大変なアンケートとはなっていないと考えている。
委員	市民を対象としたアンケートについて、市民のどれくらいの方が対象となるのか。市民の中にはこういったアンケートを実施しているか知らない人も多いのでは。
事務局	昨年度は広報おうめで実施したが、回答者は48名程で少なかった。周知の方法は考えていきたい。

委員	Web 画面に飛んでいけるような QR コードを観光施設等に設置する等、工夫をすると良いかも。
2 議題（5）懇談会議事録の公開について (資料 5-1、5-2、5-3、5-4)	
事務局	昨年 の 第 1 回 から 前 回 までの 合計 4 回 の 懇 談 会 に お いて、 会 議 録 を 作 成 し た の で 配 布 す る。 事 前 に メ ー ル 送 付 が で き な か っ た の で、 す ぐ に ご 意 見 や ご 指 摘 な ど を い た だ く こ と は 難 し い と 理 解 し て い る の で、 何 か あ れ ば 1 0 月 3 1 日 (金) ま で に 事 務 局 ま で メ ー ル を お 願 い す る。
【 質 疑 応 答 】	
特になし	
2 議題（6）その他	
事務局	特になし
【 質 疑 応 答 】	
委員	OmeBlue は 何 を し た い の か ? と い う 質 問 を 受 け た と き に 「 青 梅 と 言 え ば ブ ル ー で し ょ う 」 と い う イ メ ー ジ を 構 築 す る こ と で は な い か、 と 回 答 し た。 群 青 文 学 で は ブ ル ー の ス イ ー ツ と い う こ と で あ る 程 度 認 知 は 広 ま っ た と 考 え て い る が、 ス イ ー ツ 以 外 で も ブ ル ー の 認 知 を 広 げ る 活 動 を し て は ど う か。
事務局	群 青 文 学 で は 青 い お 菓 子 で P R し た が、 い ま ま で あ ま り ブ ル ー を 強 調 し た イ ベ ン ト は な か っ た よ う に 思 う の で、 今 後 は 他 地 域 と の 差 別 化 を 考 え て ブ ル ー を ブ ラ ン デ ィ ン グ 戦 略 と し て 勉 強 し て い き た い と 思 っ て い る。
委員	釜 の 淵 公 園 に は 桜 の 木 が 生 え て い た が 伐 採 さ れ て い る。 桜 の 時 期 に は ラ イ ト ア ッ プ な ど を す る イ ベ ン ト を 実 施 し て い る の で、 伐 採 し た 後 は 苗 木 を 植 え る な ど の 処 置 が 必 要 で は な い か。
事務局	シ テ ィ プ ロ モ ー シ ョ ン 課 の 管 轄 外 な の で 聞 い て い る 話 だ が、 苗 に つ い て は こ れ か ら 植 え て い く 予 定 と 聞 い て い る。 苗 の 植 栽 に つ い て は 時 期 的 な も の も あ る と 聞 い て い る の

	で、時期が来れば植栽されると理解している。
委員	釜の淵公園の市民プール跡地について、芝生広場にして健康器具を設置したり運動できる施設を作ったりして市民の方が有効に利用できるようにしてはどうか。ポッパルト市ではキャンピングカーが泊まれるような施設もあつたりするのを見てきた。河川のBBQゴミ問題等もあり難しいと考えるが、綺麗な河川敷環境を維持できるような施設の構築を考えていただきたい。
事務局	現状は市民からアンケート調査をしているところ。それを踏まえて各課が検討している。上位の意見としては散策路などが欲しいというものが多い。BBQゴミが多いという問題も多いのでその辺りも改善できるような整備を目指している。
委員	国際認証取得に向けて釜石市への調査と書いてあるが、釜石市でグリーンデスティネーションを受賞した時は華やかな授賞式を行っていた。これは観光の認証評価みたいなものなので、ぜひ釜石市に訪問していただければと思う。
3 次回の懇談会日程について	
事務局	次回は、2月～3月頃の開催を予定している。日程調整についてのメールを後日お送りする。
4 その他	
事務局	特になし